

震災から見えた世界

とよなか市民環境会議 講演会

地球温暖化への取組みの新たな段階を迎えて
～省エネルギーから本格的な低炭素型の安心な都市をつくること～



大震災後、日本のエネルギー供給は大きな岐路に立っています。

地球温暖化対策へ向けた取組みが新たな段階を迎えた今、私たちに何ができるのでしょうか。

市民・事業者・行政が協働とパートナーシップで環境の取組みを進める「とよなか市民環境会議」は、発足から15年を迎えました。発足時コーディネーターとして関わった先生のお話から、当時の状況を振り返りつつ、今後に向けて、中長期的な視点から低炭素型の安心な都市づくりを考えます。



講師：盛岡 通（もりおか とおる）さん

関西大学 環境都市工学部 都市システム工学科 教授

プロフィール：昭和44年京都大学工学部卒業、博士課程を修了し大阪大学に赴任。

平成5年大阪大学教授、大学院教授、地球総合工学科長・専攻長、サステナビリティ・デザイン・センター副センター長を経て、平成21年3月退職。

豊中市では、とよなか市民環境会議の設立に関わり、現在、広く開かれた関西大学低炭素社会技術システム研究会を企画運営。

<http://www.envmanage.civil.kansai-u.ac.jp/lcs/>

同時開催

とよなか市民環境会議 総会

NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21総会

日時

平成23年(2011年) 6月21日 (火)

13時30分～14時30分
先着200名

参加費
無料

問合せ先

主催：とよなか市民環境会議

問合せ：豊中市 環境部 環境政策室

TEL06-6858-2128/FAX 06-6842-2802

e-mail：kankyoukeikaku@city.toyonaka.osaka.jp

会場

青年の家 いびき 大会議室

阪急服部駅より西へ徒歩 10分

